

ビジネス映像メディア「PIVOT」

& questions

Sponsored by エーアイセキュリティラボ

AI時代のセキュリティ変化を 乗り越える

いま、企業に求められるセキュリティ対策とは？

AIの進化に伴い攻撃は高度化していますが、企業が「やるべきこと」が大きく変化したわけではなく、基本的な対策そのものは昔から変わっていません。

人・教育

リテラシー向上
ルールの徹底



運用・管理

アカウントや端末の
適切な統制



システム

脆弱性の継続的な
把握と対策



一方で、やるべきことが多すぎる / 理想が高すぎるなどが理由となり、
“あたりまえの対策”を継続することは難しい

「あたりまえの対策」を続ける難しさ

さまざまな要因が絡み合い、現場では「手が回らない」のが現状ではないでしょうか。

情シス・セキュリティ部門の
人手が足りない

売上に直結しないため
予算が取りにくい

管理すべきアセットや
端末が多すぎる



何をどこまでやるか
判断が難しい

そもそも、対策継続を困難なものにする根本的な原因は…？

「あたりまえの対策」を阻む3つの課題

チーム

- 経営層の理解や投資が得られない
- セキュリティ専任組織がない
- 現場との役割分担が難しく、情シスに業務が集中する
- 部門間の連携が難しい

業務

- セキュリティ知識が足りない
- アラートや脆弱性の内容を読み解けない
- 開発者や他部門への説明が難しい
- 通常業務の中で回しにくい

仕組み

- 人手とお金をかけずに回す仕組みがない
- 外部依存が大きく、自分たちで仕組みを作ることに踏み出せない
- 外部化することで社内に知見が残りにくい



日々の継続ができていないと、
トラブルが発生した際の対応・復旧に時間がかかり、事業に影響も…

「セキュリティがととのう」とは？

人が頑張る状態ではなく、無理なく日常的にセキュリティが回り続け、事業が前に進む状態のこと。

ととのう、セキュリティ

- ・ 自動化・効率化が進んでいる
- ・ 人の注意力や労力に頼らず回る

- ・ 各組織の役割が明確である
- ・ セキュリティ/情シス・開発/事業部門が連携できる



ポイント

外部に委託できている業務は、すでに「業務として切り出せている」。だからゼロから内製化するより、実は仕組み化しやすい。

- ・ チーム間のパスワークが自然につながる
- ・ セキュリティ対策が日常業務に組み込まれている

セキュリティをととのえる最初の一步＝脆弱性診断の仕組み化

まず、脆弱性診断から「ととのう、セキュリティ」を実現していきませんか？

その起点は「仕組み化」にあります。

脆弱性診断の「仕組み化」に必要な3要素

誰でも使える



専門家でなくても、情シスや
開発/事業部門で簡単に使える

いつでも使える



必要なタイミングで
自分たちで診断ができる

何度でも使える



コストを気にせず
定額で何回でも実行できる

生成AI時代の脆弱性診断なら AeyeScan

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

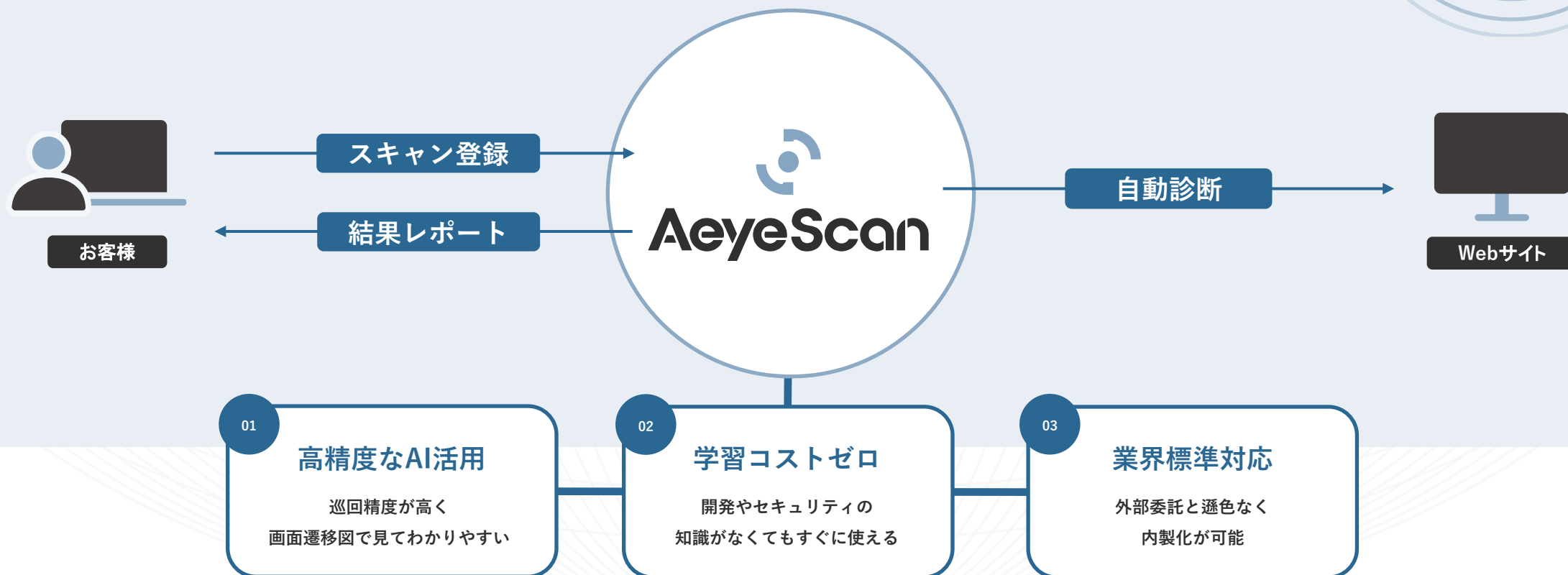
国内市場シェア

No.1※

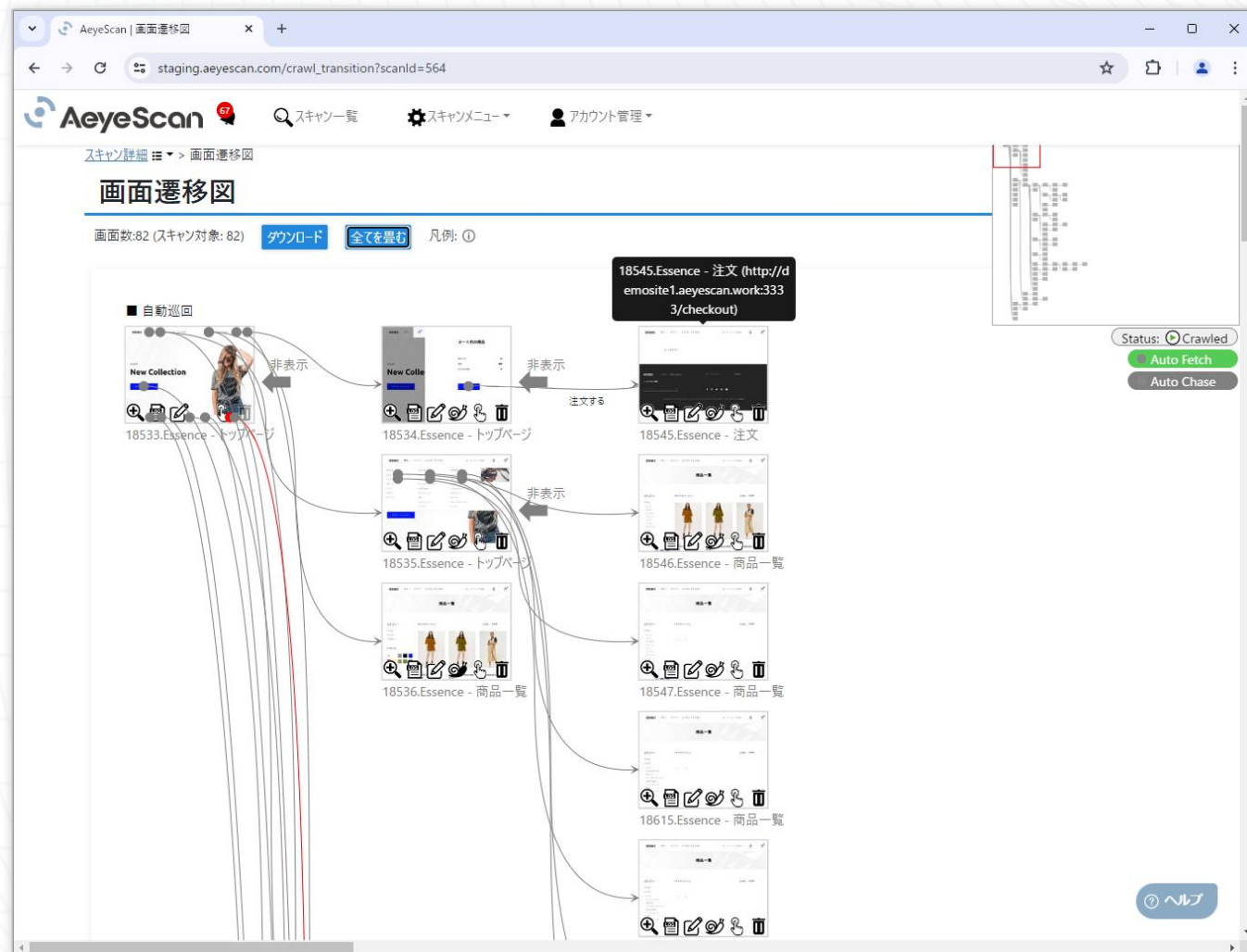
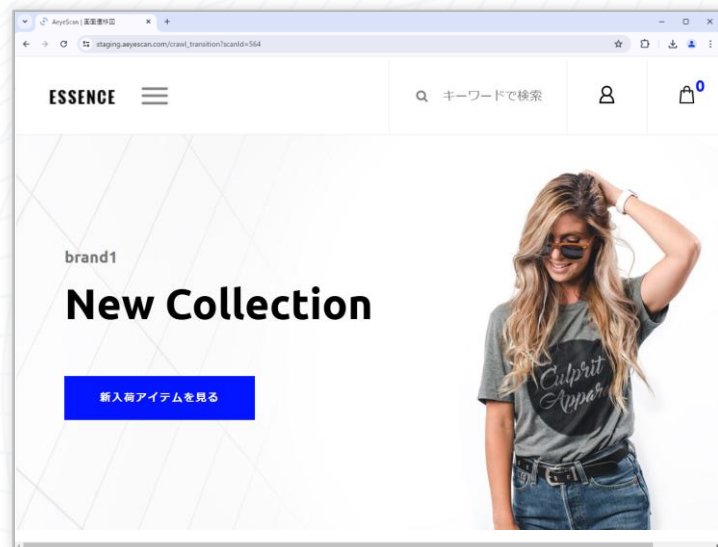
※富士キメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア（2024年度実績）

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2026」SaaS型Web
アプリケーション脆弱性診断・管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2024年度実績）

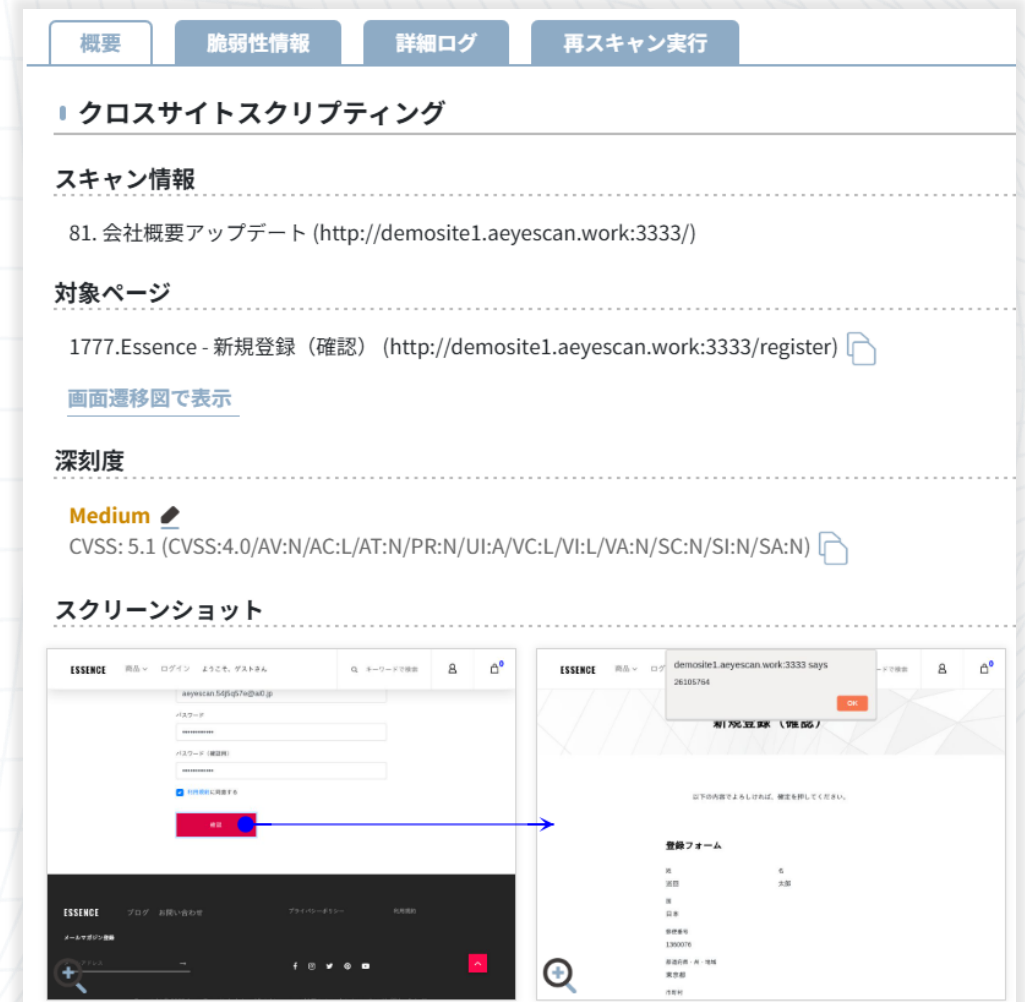
有償契約
500社以上



巡回時に、自動で画面遷移図を生成

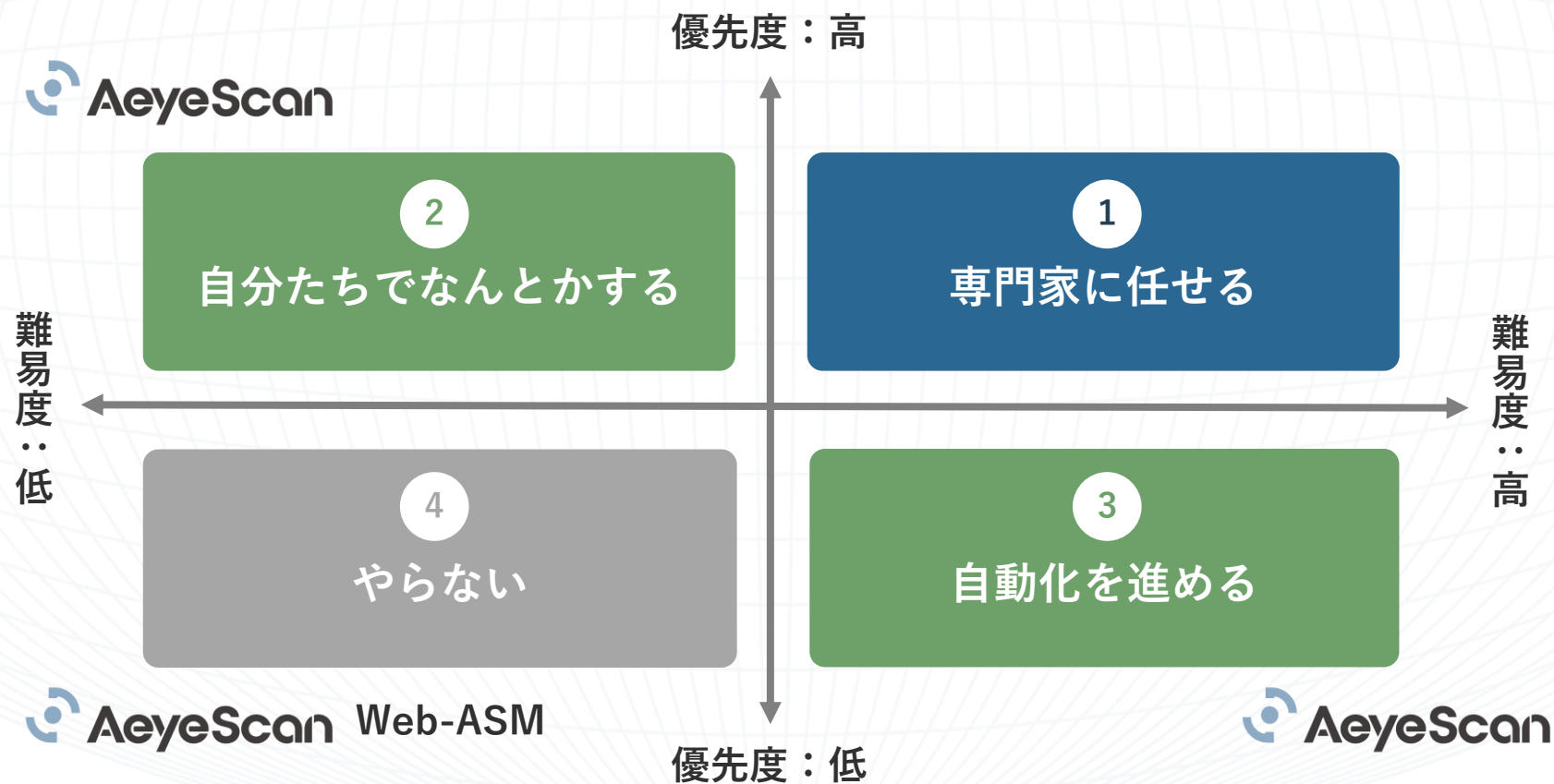


結果がわかりやすく、すぐさま修正作業に取り組めるレポート



優先度と難易度に応じて、対策を最適化

②と③の領域をAeyeScanで自動化・内製化し、①は引き続き専門家に委託。④は診断はせず監視をするなど、優先度と難易度に応じて対策方法を使い分けることで、最適化が図れます。



「仕組み化」がもたらすコスト・時間の削減効果

コストパフォーマンス



診断サイト数



診断画面数



診断回数

>>>

無制限



診断スピードの変化

外注時

AeyeScan



2週間

>>>

4～5日



最長1ヶ月

>>>

最短4日



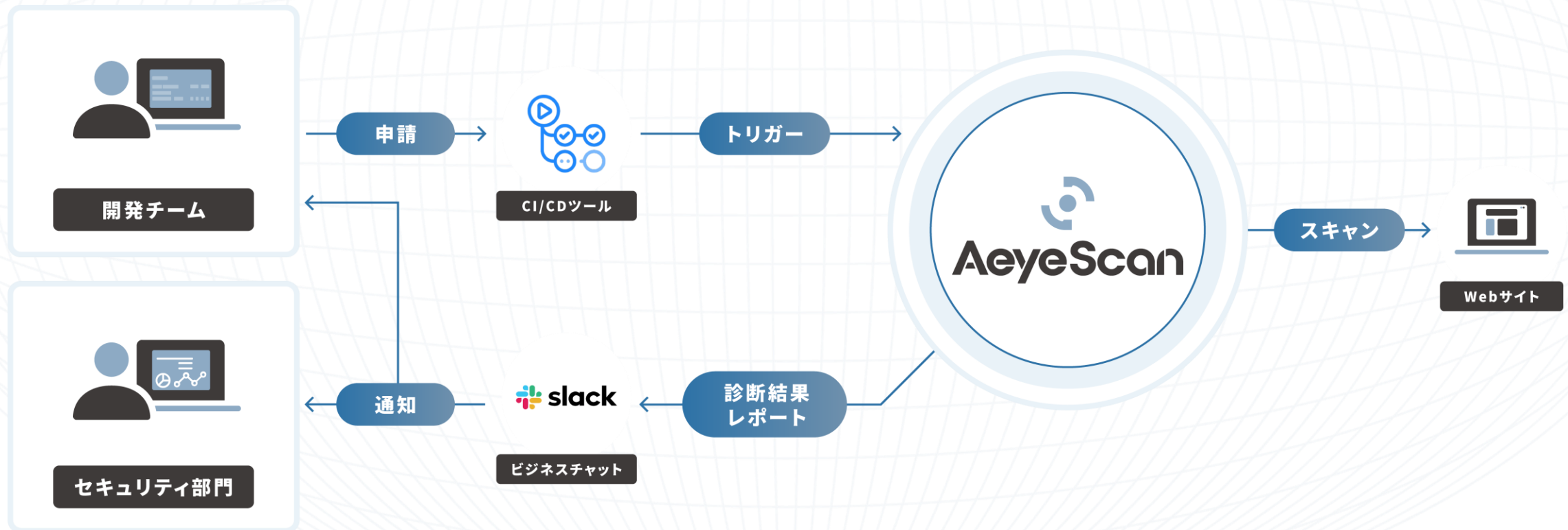
開始まで1ヶ月

>>>

2～3日

「仕組みをととのえた」企業の実践例

A社 | 人材サービス業・約4,500名



500社以上の企業が「ととのう、セキュリティ」を実現

ユーザー企業

インフラ※



エンタメ



メディア



製造



金融



人材・教育



SaaS



SI・IT企業



セキュリティ企業



※公共および社会・生活基盤までを包含

社名五十音順（導入いただいた企業様の一部です）会社名及びロゴは各社の商標または登録商標です

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



本資料の内容は、PIVOTにて動画でもご覧いただけます

動画を見る





AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。